

市町村名		栗国村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	大正池公園機能拡充事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア 観光リゾート産業の振興		
担当部署名	経済課	事業実施 年度	平成 27	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	本村の観光スポットである大正池公園は年中を通し多くの野鳥が訪れるエリアであるが、公園内の階段が劣化しており、利用客の安全性・利便性向上に向け整備し、野鳥観察小屋を設置することにより魅力ある観光交流拠点として充実を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	総事業費	
	A. 予算現額	7,904		203,275		211,179	
	B. 執行済額	5,130		196,750		201,880	
	うち 交付金充当額	4,104		157,400		161,504	
	執行率(%) (B/A)	64.9%		96.8%		95.6%	
	執行状況の説明	・H27年度については、工事の入札不調により、繰越が生じた。また、施設の撤去工事後に測量設計を実施する計画としていたが、撤去工事を行わなくても測量設計の実施が可能となるよう調整が整ったことから、応札見込みがない撤去工事に要する経費を不用とした。 ・最終的な執行率は95.6%となり、概ね計画的に執行できた。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	撤去工事	目標	実施	-	-	-	-
		実績	未実施	-	-	-	-
	測量設計	目標	実施	-	-	-	-
		実績	実施	-	-	-	-
	野鳥観察設備の設置 2箇所	目標	-	-	2箇所	-	-
		実績	-	-	2箇所	-	-
木道・浮き棧橋の整備	目標	-	-	整備	-	-	
	実績	-	-	整備	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	バードウォッチングのスポットとして公園機能の拡充	目標	拡充	-	-	-	-
		実績	拡充	-	-	-	-
	野鳥観察設備の設置完了 2箇所	目標	-	-	2箇所	-	-
		実績	-	-	2箇所	-	-
	木道・浮き棧橋の整備完了	目標	-	-	完了	-	-
		実績	-	-	完了	-	-

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果					H30年度 目標/発現年度	
	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートにより検証する。	目標	-	-	-	-	80%以上
		実績	-	-	-	-	83%
		目標					
	実績						
状況説明	<p>【H30年度】</p> <p>・アンケートの結果、「利便性が確保された」との回答が83%となり、目標を達成した。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】</p> <p>・アンケート回答について、「特に印象に残った観光スポットはどこですか(複数回答可)」において、約半数近くの方が「大正池公園」と回答しており、機能拡充によって利用客の安全性・利便性が確保され、観光施設としての魅力向上につながったものと考えられる。</p>			<p>【H30年度】</p> <p>・バードウォッチングのスポットとしての魅力を発信し、観光客の増加に寄与するような取り組みが求められる。</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】</p> <p>・野鳥観察ガイドの育成やツアー内容の検討を行い、バードウォッチングのスポットとしての認知度を高め、観光客の増加を図る。</p>							

市町村名		粟国村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	環境衛生処理事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア 3Rの推進			
担当部署名	民生課	事業実施 年度	平成 28	~	平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10-(1)
事業内容	循環社会の形成を図るため、生ごみ処理機を導入し、生ごみの島内処理体制を構築する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	総事業費		
	A. 予算現額	1,725	72,328			74,053		
	B. 執行済額	1,674	72,055			73,729		
	うち 交付金充当額	1,339	57,644			58,983		
	執行率(%) (B/A)	97.0%	99.6%			99.6%		
	執行状況の説明	・最終的な執行率は99.6%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況						
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	環境衛生処理施設の実施設設計の実施	目標	実施	-	-	-	-	
		実績	実施	-	-	-	-	
	生ごみ処理機・粉砕機の設置	目標	-	1基	-	-	-	
		実績	-	1基	-	-	-	
生ごみ処理機の建屋整備	目標	-	150㎡	-	-	-		
	実績	-	150㎡	-	-	-		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況						
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	環境衛生処理施設の実施設設計の完成	目標	完成	-	-	-	-	
		実績	完成	-	-	-	-	
	生ごみ処理機・粉砕機の設置完了	目標	-	設置完了	-	-	-	
		実績	-	設置完了	-	-	-	
生ごみ処理機の建屋整備完了	目標	-	整備完了	-	-	-		
	実績	-	整備完了	-	-	-		

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		H30年度				R1年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	島内の生ゴミ処理体制が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方をアンケートにより検証する。	目標	80%以上	-	-	-	80%以上
		実績	未実施	-	-	-	
	目標						
	実績						

【H30年度】
 ・島内の生ゴミ処理体制に関するアンケート調査は、H30年度に実施する計画としていたが、堆肥化した肥料の登録申請手続きに時間を要しており、生ゴミ処理体制の確保までに至らなかったことから、アンケート調査の実施を見送った。島内の生ゴミ処理体制を確保のうえ、R1年度にアンケート調査を実施するものとする。

状況説明

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堆肥化した肥料の配布が可能となるよう肥料の登録申請手続きを進め、島内の生ゴミ処理体制の確立が課題である。 ・H30年度(H31年3月時点)に生ごみ回収へ参加した戸数は、全世帯数の10%未満(参加戸数34戸/全世帯数413世帯)に留まっており、島内での生ゴミ処理への参加拡大が課題である。 	<p>【H30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料の登録申請にあたって必要となる肥料の成分分析に時間を要していることから、速やかな申請手続きの実施に向けて取り組む必要がある。 ・参加戸数の拡大に向け、島内での生ゴミ処理に関する周知や理解に努める必要がある。
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】

- ・生ゴミ処理に伴う肥料の登録申請に取り組み、肥料の有効活用を進めることにより、島内の生ゴミ処理体制を確立し、循環型社会の形成を図る。
- ・参加戸数の拡大に向けて広報誌やポスターによる周知及び防災無線での呼びかけを強化するとともに、説明会の開催等を行い、島内での生ゴミ処理への理解・普及を図る。